



しもよねだ



No.10

学校の教育目標 かしく(よく考える子) あたたく(思いやりのある子) たくましく生きる子(強い体の子) 令和5年12月26日

学徳高き<津田左右吉博士>のふるさと下米田で、**健やかに育つ子ら!**

言葉を紡ぐ 心を紡ぐ



校長 佐藤 亜紀

1年2組からお知らせします。

1年1組のみんな、2年生から6年生のおにいさん、おねえさん。きょうは、ミニうんどうかいにきてくれて ありがとうございます。

かいかいしきで、「ゴーゴーゴー」をいっしょにうたってくれて うれしかったよ。

かけっこのとき、みんなが おうえんしてくれたから、さいごまでがんばって はしれたよ。ダンスは きんちょうしたけど、さいごまで えがおでおどったよ。

みんなのやさしさが いっぱいのミニうんどうかいだったから、おわってからも1年2組ぜんいんが、うれしいきもちで いっぱいだったよ。

きょうはありがとうございます。これで1年2組からのお知らせをおわります。

11月6日(水)に実施した1年生・2年生のミニ運動会後、お昼の放送で流れた1年2組からの言葉です。閉会式を終え、教室に戻った時に、子どもたちの喜びや充実感から溢れ出した言葉を紡いだお礼の放送でした。その直後には、各教室から拍手が起こったとも聞いています。

*普通って何だろう。自分にとっての“普通”は、相手にとっての“普通”ではない。

そして“普通”でなくてもいいのです。

*ダメな子なんて、一人もいない。生まれた時も今も、全ての子が輝いているのです。

*今日、今を生きることが“奇跡”であり、その“奇跡”の連続が、「ありがとう」であり、「おめでとう」なのです。

*生きることは苦しい。けれど、生命(いのち)は美しいものです。

11月1日の『創立150周年記念事業 いのちの講演会 「いのちの理由」～コウノドリの現場からあなたへ～』でご講演いただいた、岐阜県総合医療センター 新生児内科医長 寺澤 大祐氏のお話からの一説です。私のいのちの理由、あなたのいのちの理由、あの人のいのちの理由・・・を心の中で問い続け、かけがえのない“いのち”の意味を改めて考える時間でした。聴講した全校、そして参加された保護者の方々の心に、今も尚、響き続けるこれらの言葉と、その重みを感じています。



82日間の2学期が幕を閉じました。上記2例を紹介しましたが、教科の学びと同様に、「心を学ぶ」ことの多い2学期でした。日常の生活の中に位置付く様々な行事を核としながら、全校の子どもたちの心も体も成長し、一歩ずつ確かな歩みとして次へと向かっています。

保護者の皆様、地域の皆様の本校教育活動へのご理解とご協力のおかげで、今日を迎えることができました。ありがとうございます。よいお年をお迎えください。